

彙 報

第 16 回大會

5 月 14 日學士會館において開催，次の講演があつた。

言語學者の手紙	市河三喜氏
Significance of Sanskrit Studies	L・ルヌー氏

第 31 回大會

10 月 31 日東京大學法文經第 37 番教室で開催，大會としては始めてである會員の研究発表を行つた。発表は 1 名 15 分質疑應答 5 分で，12 名の會員が本誌 145 頁以下に掲載の研究発表を行い，最初の試みとしては質疑討論も活潑で非常に盛會であつた。なお従來用いてきた講演會という名稱を取り止め，本年度より春秋共に大會と稱することにし，回数は従來の講演會のそれを追つてゆくこととした。

第 9 回九學會連合大會

5 月 8 日，9 日の兩日上野公園國立博物館大講堂において開催された。本會よりの発表者は

共同課題「移住」言語の特徴と集團の出自	
能登輪島の海土部落について	岩井隆盛氏
共同調査「能登」能登方言の分布	柴田 武氏

東京例会

17 回，4 月 10 日，函學院大學，	「象徴機能について」	築島謙三氏
18 回，6 月 12 日，學習院大學，	「言語價值について」	小林英夫氏
19 回，7 月 3 日，東京外國語大學，	「言語構造と語彙の借用」	龜井 孝氏
20 回，10 月 2 日，早稻田大學，	「言語境界線の諸問題」	前田護郎氏
21 回，12 月 4 日，東京教育大學，	「日本における方言境界線」	金田一春彦氏

評議員會・委員會

4 月 10 日，委員會，於國學院大學

1. 日本學術會議中央選舉管理會委員に小林英夫氏を推薦する。
2. 第 16 回大會に關し細目を決定。

6 月 12 日，委員會，於學習院大學

1. 「言語研究」執筆者には，抜刷 20 部の他にその號一冊を余分に贈呈する。
2. 執筆者がその號を購入する場合は 5 割引とする。但し執筆してない號については従來通りとする (2 割引)。
3. 「言語研究」26 號，27 號を 9 月頃より印刷にかゝり，二號を連續若しくは合併號として出版する。

4. 秋の講演會（第 31 回大會）の細目を決定。

9 月 28 日，委員會，於東京大學

1. 秋の講演會を第 31 回大會とし從來の講演會という名稱を廢止する。番號は講演會の夫を受けつぎ，從來の大會番號（昭和 29 年度，第 16 回）は總會として之を受けつぎ，年一回大會と共に開催する。
2. 在パリ日本會館圖書閱覽室へ「言語研究」を毎號一冊ずつ寄贈する（文部省よりの依頼）。
3. 九學會明年度の共同課題「適應」「酒」の中「適應」を選び發表者を依頼する（上村幸雄氏の承諾を得）。

10 月 31 日，評議員・委員會，於學士會館分館

1. 原納一富，長谷川松治，鈴木孝夫の 3 氏に委員を，松田伊作氏に幹事を依頼する。
2. 明年春の大會は今回同様發表形式を以て京都大學で開催する。
3. 金田一副會長の文化勳章受章に際し次の如く祝意を表わす。
 - a) 言語學會單獨で祝賀會を開く。
 - b) 會員に出す案内狀の返事に夫々博士に御祝の言葉を書いて貰い，之を博士に贈呈する。
 - c) 「言語研究」次號の卷頭に博士の Eulogy を掲載する。

* * *

◇本會評議員辻直四郎氏は 28 年 10 月日本學士院會員に當選された。

◇柳田國男・金田一京助・時枝誠記・泉井久之助・服部四郎の 5 氏は，5 月 18, 19, 21, 24, 25 の 5 日に亘り宮中において言語學に關する御進講をされた。柳田氏は日本語の系統問題一般について，金田一氏は日本語とアイヌ語との關係について，泉井氏は南洋語との關係について，服部氏は琉球語との比較，更に朝鮮語・アルタイ諸言語との關係について，時枝氏は國語學について，夫々御前講演をされ，講演後質問討論が活潑に行われた。

◇本會評議員辻直四郎氏はケンブリッジにおいて開催された第 23 回國際東洋學者會議に日本學術會議より派遣され，8 月 17 日出發，歸途ウィーン・パリを経て 9 月 17 日に歸國された。

◇本會副會長金田一京助氏は，言語學特にアイヌ語學における功績により，11 月 3 日文化勳章を受章された。11 月 16 日後樂園涵德亭において受章祝賀會を開き，新村會長（録音）を始め來會者各位の祝辭が述べられ，最後に金田一博士が回顧談をされた。なお會員各位より寄せられた祝詞を博士に贈呈した。

昭和 28 年度會計報告

收 入		支 出	
前年度繰越金	-9,957.31	印刷費	143,512.00
會費(現金)	58,860.00	發送費	12,932.00
〃(振替)	106,747.87	大會講演會費	22,627.00
雜誌賣上	7,479.00	編集費	34,450.00
補助金	100,000.00	事務用品費	6,813.00
利息	1,823.00	通信費	22,436.00
		九學會費	3,000.00
		文哲史連合費	3,000.00
		雜費	12,505.00
		差引繰越金	3,677.56
合 計	264,952.56	合 計	264,952.56